

コロナ禍で経営者が考える 安全衛生の人づくり

2021年10月28日(木)

令和3年度 製造業安全対策官民協議会 会長

一般社団法人セメント協会 安全衛生対策委員会 委員長
太平洋セメント株式会社 取締役 専務執行役員

苅野 雅博

コンテンツ

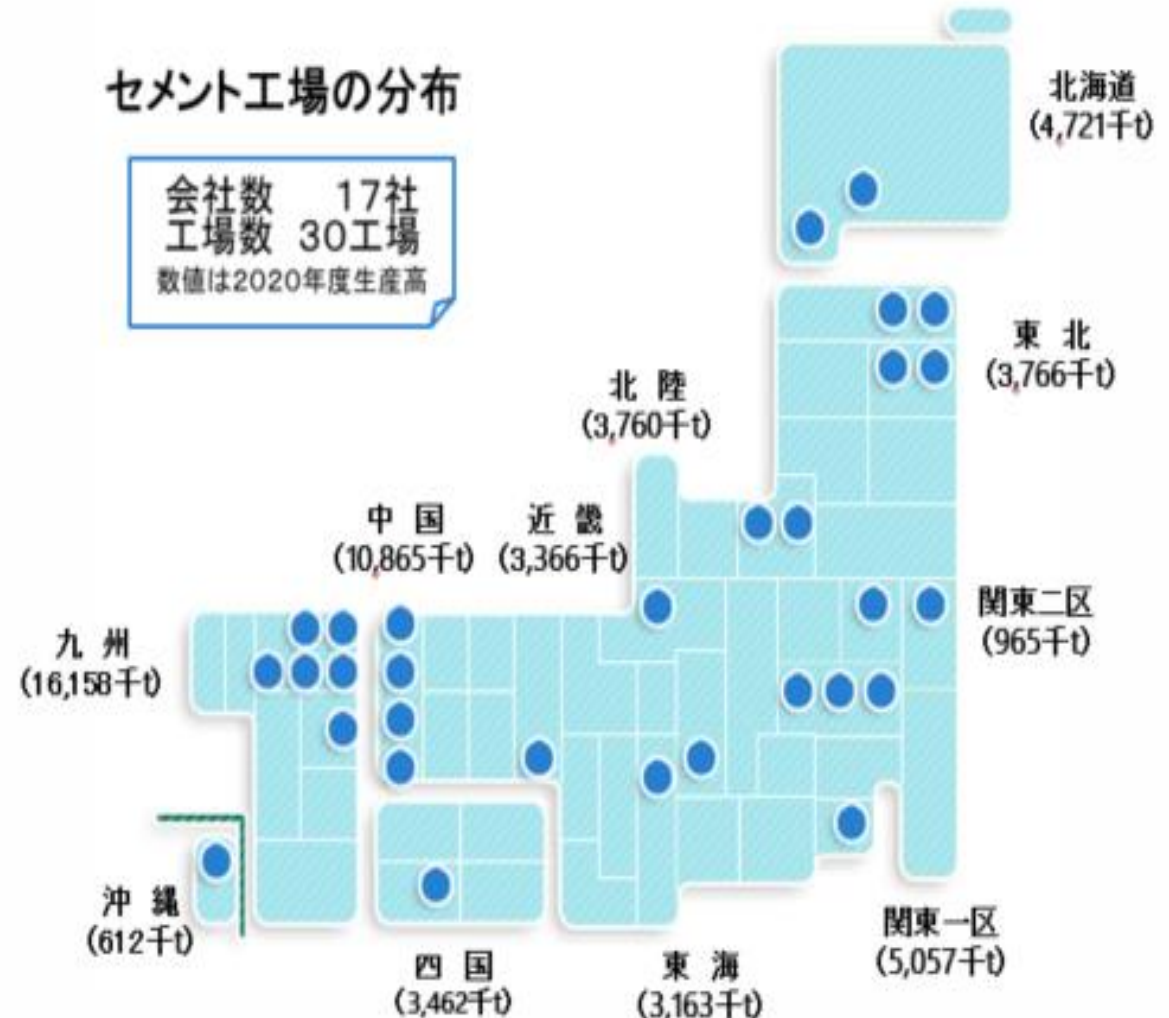
- セメント協会会員の状況
- 2020年 労働災害発生状況(セメント協会)
- コロナ禍での安全衛生対策の取組み状況
- 新人教育、協力会社等の教育、AI、IoTの活用、教育体系の制定等の取組み状況
- 【コロナ禍における安全衛生上の課題について】
- 神戸宣言「4つの経営理念」に基づく労働災害防止に向けた取組み
～2021年度 安全衛生活動計画(セメント協会)

セメント協会会員の状況

セメント企業の概要（2021年4月1日現在）

社名	項目	工場数	在籍従業員数
八戸セメント	株式会社	1	84
日鉄高炉セメント	株式会社	1	172
日鉄セメント	株式会社	1	161
東ソー	株式会社※	1	45
トクヤマ	株式会社※	1	292
琉球セメント	株式会社	1	92
荻田セメント	株式会社	1	56
太平洋セメント	株式会社	6	2,367
敦賀セメント	株式会社	1	96
宇部興産	株式会社※	3	1,207
デイ・シー	株式会社※	1	92
デンカ	株式会社※	1	147
麻生セメント	株式会社	1	136
明星セメント	株式会社	1	138
三菱マテリアル	株式会社※	4	1,119
日立セメント	株式会社	1	124
住友大阪セメント	株式会社	4	1,386
計		30	7,714

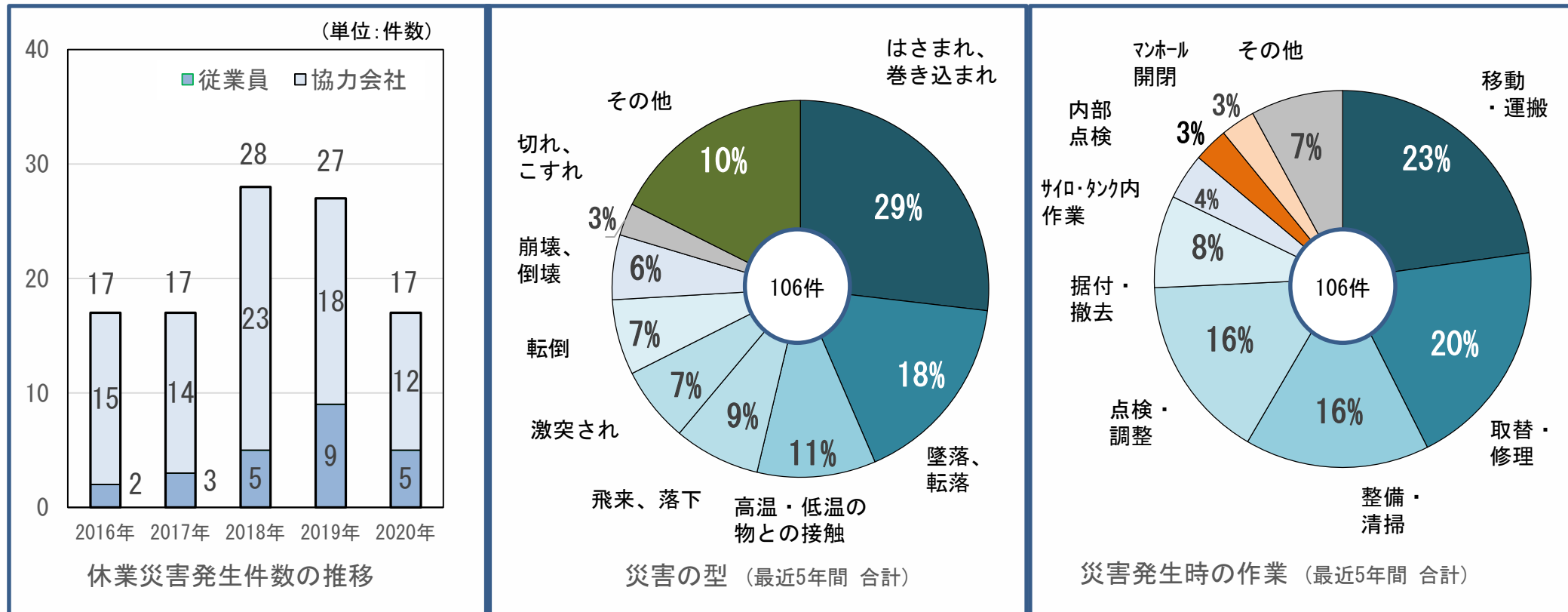
- (注) 1. 在籍従業員数は2020年12月末現在
 ※印は兼業社を示しセメント部門従業員数
 2. 工場数はエコセメント工場を除く



2020年 労働災害発生状況 (セメント協会)

災害発生状況分析 (2020年(暦年))

- ・ 死亡災害 0件、休業災害 17件 (従業員・協力会社合わせて)
- ・ 災害の型上位: 「はさまれ・巻き込まれ」、「墜落・転落」、「激突され」
- ・ 設備保全作業時の発生が多い



災害発生状況(2016~2020年)

(会員企業17社・30工場)

コロナ禍での安全衛生対策の取組み状況

(順不同)

1. 基本的対策

- ソーシャルディスタンスの確保
- マスクの着用・咳エチケット
- 手洗いの励行・手指消毒
- 3密回避
- 部屋の換気

2. コロナ禍における取組み状況(取組み事例)

- 「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント(厚生労働省)を全工場に配布し、作業におけるマスク着用等について管理強化を進めた。
- 熱中症対策として、プレハブハウスを休憩室に使用していたが、コロナ禍により、密を避けるため利用人数を制限したり、時間を決め交替で使用するようになった。
- クーリングジャケットを利用して、あまりマスクをはずさなくても済むような対策をした。結果として、熱中症も新型コロナウイルス感染者も両方とも発生していない。また、コロナ対策の2次的効果として、インフルエンザの感染者も例年に比べてかなり少ない。
- 協力会社の人に作業指示をするときに従来は事務所の中で行っていたが、新型コロナウイルス対策としてプレハブハウスを設置し、そこで行うようにした。
- 事業所(工場)の事務所を2か所に分け、例えば工場長と副工場長や従業員の居室を別にした。
- 定修(休転作業)に当たる協力会社の従業員に、PCR検査を受けてもらってから入構してもらうようにした(検査費用は会社負担)。
- 定修(休転作業)で、県外から来る人に2週間ホテルで待機してもらってから入構してもらうようにした。
- 交替勤務者を半分に分けた。
- 県内移動であっても講習会等に参加した場合は、抗原検査キットによる陰性確認を行っている。
- 危険体感教育、集合教育がコロナ禍により、人数制限や一部休止、見合わせなどになった。
- 労働安全衛生コンサルタントによる安全衛生診断をコロナ禍により、リモートにて実施している。

新人教育、協力会社等の教育、AI、IoTの活用、 教育体系の制定等の取組み状況

セメント協会	<p>『教育・研修について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生大会(毎年開催 本年70回) ・安全講習会～職長教育(年2回開催) ・ライン管理者研修会(年1回開催) ・安全・衛生 管理者能力向上教育(隔年開催)
太平洋セメントほか 会員会社	<ul style="list-style-type: none"> ・危険体感教育のVR活用 ・Web会議の活用(階層別教育) ・Eラーニングの活用 ・ウェアラブル端末のリストバンドタイプで体温や心拍数を測り熱中症や体調を管理 ・タブレット端末(iPad等)で災害防止動画や作業標準書を現場で作業直前に確認

【コロナ禍における安全衛生上の課題について】

セメント協会	<p>『教育・研修の開催制限』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生大会(毎年開催 本年70回) ・安全講習会～職長教育(年2回開催) ・ライン管理者研修会(年1回開催) ・安全・衛生 管理者能力向上教育(隔年開催) <p style="text-align: right;">書面配布のみ(未開催)</p> <p style="text-align: right;">} 2020年度～現在まで 開催出来ず</p>
太平洋セメントほか 会員会社	<p>1、社内・外の行動制限による人材育成の機会ロス</p> <ul style="list-style-type: none"> ①安全衛生関連の教育・研修・資格取得は、都市圏で開催されることが多いため派遣の中止・延期とせざるを得ない ②第3者派遣による現場重視型の安全衛生指導、評価の延期 ③事業所内集合研修等の開催制限による活動の停滞 <p>2、研修、講習会等のWeb開催の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ①講師等からの一方通行になりやすい ②グループ討議等、コミュニケーションツールの活用が難しい <p>但し、Web開催の浸透で情報交換等の会議開催頻度が増え、安全衛生諸施策の展開速度が速くなるという利点も生まれる。</p> <p>3、コロナ感染症対策を十分行い行動制限を緩和した場合においても、地元の風評被害の発生が危惧される。</p>

神戸宣言「4つの経営理念」に基づく労働災害防止に向けた取組み

2021年度 安全衛生活動計画（セメント協会）

1. 経営層のリーダーシップ

セメント協会 安全衛生大会において「大会宣言」による業界全体の方針を採択し、安全衛生活動を実施する

2021年度：一堂に会する大会は中止とし、会長挨拶、委員会活動報告、厚生労働省・中央労働災害防止協会祝辞、大会宣言を含む研究発表集を会員各社に配布し展開、ホームページに掲載

2. 安全への投資の促進

安全衛生対策委員会において、会員各社の最新の労働災害防止に向けた取組みについて、情報共有を図る

2021年度：経営トップの役割や人的対策（誤判断、誤作業等の防止、技能の伝承、教育の充実）、リスクアセスメントの実施状況等を情報共有

3. 安全人材の育成や安全教育の拡充

セメント協会主催の安全衛生教育（職長教育、ライン管理者研修、安全管理者・衛生管理者能力向上教育、他）を実施する

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかったが、2021年度については会員企業主体による活動として展開

4. 業界内外への共有

- ① 安全衛生対策委員会での労働災害の防止策の審議、「安全衛生活動計画」の進捗報告
- ② 安全衛生関連調査の実施
(労働災害四半期報、労働者疾病四半期報、安全衛生概況・災害分析表、労働災害事故報告)
- ③ 休業災害発生の都度、災害事例を会員企業に伝達、類似災害の防止
- ④ 安全・衛生優良事業場の表彰
- ⑤ 安全・衛生功労者の表彰
- ⑥ 経済産業省を含めた緊急連絡網の整備・実施
- ⑦ 物流災害発生について、災害事例を会員企業に伝達、類似災害の防止

ご清聴ありがとうございました。